

ためのバラを購入し、久保山氏の墓前に献花を行いました。

地元の方々が自宅玄関の前から暖かい支援の言葉をかけていただいたことが印象的でした。

3月1日午後は「被災70年2024年3・1ピキニデー集会」です。ここでも改めて「ピキニ水爆被災70年から被爆80年へ非核の日本をめざす全国キャンペーン」について、日本が核兵器禁止条約に参加し、アジアと世界のどの国にも核兵器の廃絶と平和を堂々と呼びかける国、「核の傘」に隠れるのではなく、平和と安全のために日本国憲法の問題に基づく外交をできる国になることが重要であることが強調されました。全国からの報告では若者や女性の元気な様子がとても印象的でした。



最初の「核兵器廃絶を求める署名用紙」杉並区の女性の運動としてスタート(会場ロビー)

〈福知山平和委員会総会報告〉 仲間をふやして福知山に

平和の声を高めよう！

大軍拡・米軍射撃監視・土地調査規制法・自衛隊の動き
―課題いっぱいを確認―

3月9日の総会 盛会裏に終わる―

話題いっぱい議論ができました。3月9日中丹勤福会館で開催した2024年福知山平和委員会総会には、予定していた和室に、ほぼいっばいの会員さんが集まり、盛会のうちには終わりました。議論にはちようど良い14人。でも資料はもつともつとたくさん用意していたので、残念ではありませんが。

「新しい戦前」の言葉どおり、米軍と自衛隊が一体化して、自衛隊増強と強靱化、土地調査法「注視区域」指定など、深刻な軍事化が進む京都北部と福知山です。京都平和委員会からは片岡明理事長を来賓に迎え、内外の情勢と京都の課題が報告され議論を高めました。

議事では、この一年の活動を振り返りました。「警

備「目的で始まった訓練が、しだいに「戦闘訓練」に進化する室射撃場における

米軍実弾射撃の監視活動、福知山の平和運動の総結集としての「2023年平和のための福知山戦争展」の取り組みを中心に報告しました。その他、メーデーごくろうさん会、月3回「平和新聞」に折り込んだ会員投稿の別刷り「平和学習版」。原水協との共催の夏の「核廃絶国民平和行進」

「平和の鐘」、9条の会主催の各種平和集会への参加を取り組みました。全国組織へも、秋の平和大会（鹿児島）への代表派遣とカンパ活動、リモート参加などが報告され、多彩な取り組みでした。

活動方針では、福知山市内の平和団体ともさらに強く手をつないで、草の根

の共同行動を強めること。会員相互の交流・連帯を深め、会員以外の市民も参加する平和学習会を復活させて「学習・交流・連帯・行動」の平和委員会にすること。そして、会員や読者をもつともつと多くして市民に深く根付く活動にしていくなことなどを確認しました。

後半の会員交流では、片岡理事長から、岸田軍拡政策の中でしだいに強まる京都北部、経ヶ岬・舞鶴・福知山での「戦争準備」の実態が報告されました。それをもとに、参加された皆さんから、さまざまな意見や思いを出し合いました。

(福知山平和委員会) 水谷徳夫



盛会の福知山平和委員会総会の様子

安保破棄京都実行委員会・
ハイブリッド学習会
暮らしを通して大軍拡・大増税
その根っこにある安保条約を斬る
会場定員**35名** ラポール京都4階第7会議室
4月13日(土) 15:00~16:45

小畑哲雄さんに聞く
知られざる戦中・戦後の体験
日時:4月6日(土) 14時~16時

会場:ラポール京都4階 第9会議室
(四条通り御新西入る)
小畑哲雄さん、現在94歳、京都平和委員会の顧問で、八種平和委員会の会長をつとめておられます。
八種平和委員会が講演記録「小畑哲雄が語る 知られざる戦中・戦後の体験 一冊の中の光の粒、凍となれ〜」を無料し、『平和新聞』でも紹介されました。
戦争を体験された方から直接お話を聞く機会 はなかなかありません。友人、知人、お子さん、お孫さんをお誘いの上ご参加ください。
今回は対面のみ企画で、オンライン配信は行いません。
【主催:京都平和委員会 お問い合わせ先:075-811-3203】

講師 **小泉 親司さん**
(安保破棄中央実行委員会常任幹事・日本共産党中央委員会基地対策委員会責任者。元参議委員議員)
■1948年11月生まれ
■31年参事
今日の「日米同盟」を問う―北東アジアの平和の流れのなかで など多数
学習会はリアルとZOOMのハイブリッドで行います。お申込みいただいた方に、ID・パスワードをお送りします。下記の連絡先までご連絡ください。(QRコードからメールが送れます) FAX・Emailには、お名前・電話番号の明記をお願いします。(ZOOM 接続の緊急対応用)
主催:安保破棄京都実行委員会
会 & FAX 075-874-6200 Email anpokyoto@gmail.com

【お知らせ】
川上事務局長が昨年からの体調不良を訴えていたのですが、2月24日の常任理事会で退任が了承されました。京都原水協の事務局次長も兼務されていました。現在の重要な局面に働き手を失うのはとても残念です。皆さんに助けをいただきながら、日平理事を中心にフォローしていますが、事務局の仕事を支える方を募ります。